

デーリー東北

2023年(令和5年)3月17日(金曜日) (16)

大雨被害にも備えを

八工大が防災フォーラム

八戸工業大地域産業総合研究所(金子賢治所長)が開いた。市民ら約30人は11日、八戸市の番町サテライトキャンパス「ばら」で、「3・11防



過去の記録以上の災害に対する備えの重要性を呼びかける佐々木幹夫さん

東日本大震災を教訓に災害のリスクやインフラ整備、万が一への備えの重要性を再確認してもらおうと実施。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止期間があり、3年ぶりの開催となった。

同大名教授の佐々木幹夫さんが「青森県2022年8月豪雨災害について」と題して講演した。相次いで被害を出した線状降水帯が発生するメカニズムや予想の困難さ、避難する人が少なかった現状などについて説明。大雨被害は八戸地域でも発生すると指摘した上で、「過去の記録を上回る自然の猛威は必ず起きる。それに備えることが重要だ」と呼びかけた。

東北学院大名教授の飛田善雄さんも講演したほか、震災が発生した午後2時46分に合わせて参加者全員で黙とうをした。(藤村大地)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。